

2019年度【社会構築論系】論系ゼミ1次選考方法一覧

NO	科目名	担当教員	定員	志望理由書 (400字以上)	成績平均点	成績通知書	面接	面接日時・面接場所 その他	抽選	課題	課題内容・課題提出方法	その他
1	社会構造論ゼミ1(日本社会の成り立ちを考える)	川尻 秋生 久保 健一郎	10~15名	○		○	○	10月26日(金)12:30~14:15、 39号館6階2612研究室で行います。				
2	社会構造論ゼミ2(近代アジア社会の形成)	柳澤 明	15名	○			○	日時:10月22日(月)4限 10月25日(木)5限 (上記のどちらでも可) 場所:39号館4階2415 柳澤研究室 面接を選考の必要条件とはしません。ゼミの内容や進め方などについて質問・相談のある人だけ来ていただければ結構です。				
3	社会構造論ゼミ3(国際移民とヨーロッパの比較社会分析)	樽本 英樹	15名	○	○	○	○	面接は10/19~11/5のいずれかに昼休みに行う予定です。応募者に個別にメールにて連絡します。				
4	社会構造論ゼミ4(近現代日本経済史)	森田 貴子	10~12名	○		○	○	10月25日(木)。時間と場所は、申請者へメールにて連絡し、決定する。				
5	地域・都市論ゼミ1(地域・都市社会史)	大日方 純夫	15名	○		○	○	日時はメールで連絡・調整のうえ確定します。場所は2618研究室です。				2年春学期までの履修状況を参考にする(都市史・都市論関係科目への関心如何)
6	地域・都市論ゼミ2(コミュニティ論)	浦野 正樹	10~15名	○		○	○	10月23日(火)20:00に全員39号館2214研究室に集合(入口掲示に注意)。その後1時間程度で全員への説明と面談を実施				
7	地域・都市論ゼミ3(文化遺産論)	田畠 幸嗣	10~15名	○		○	○(必要に応じて)	面接が必要な学生には、「ゼミ志望理由書」に記載のメールアドレスへ日時と場所とを連絡します。				文化遺産関連のプリッジ科目、演習科目を履修している学生が選考の対象です。
8	共生社会論ゼミ1(優生思想とジェンダー)	豊田 真穂	14名	○		○	○	10月23日(火)および30日(火)のどちらか。日時は、「ゼミ志望理由書」に記載のメールアドレスに送信して決定する。期間中は要メールチェック。				志望理由書 ①これまで何を学んだか(独学でも可) ②そのことと本ゼミのテーマとはどのような関係があるか ③現時点でゼミ論文のテーマとしたいこと
9	共生社会論ゼミ2(現代共生理論)	森 元孝	最大15名	○		○	○(志望理由書、成績記録では不明な場合)	電子メールによるアンケート形式の書面インタビューを行う。				志願理由書 「森ゼミで何をしたいか」「高校・大学1、2年でしたこと(課外活動・冒険・読書・芸術・仕事など)」「これから計画していること」などを、自分の言葉で表現する。
10	共生社会論ゼミ3(地域・文化・学びと平和構築)	山西 優二	15名	○		○	○	10月23日(火)12:30に1612研究室(33号館16階)に全員集合し、個々人の面接時間を調整し、その後13時から夕刻にかけ面接を個別に実施する。				
11	共生社会論ゼミ4(グローバル・アジア研究)	金 敏默	14名	○		○	○	ゼミの一次選考の時間と場所は、書類応募後、メールで別途知らせます。したがって、登録メールを随時確認できるようにしてください。木曜日・金曜日2時限のランチタイムになる可能性が高いです。場所は、ゼミ室(33-905)または金研究室。				志願理由書 ①なぜ「グローバル・アジア研究」ゼミを志望することになったのか。 ②このゼミを通じて、どのようなことを期待(自己成長を含む)しているのか。 ③2030年のアジアと世界についての根拠を提示しつつ根拠を示してください。 ④あなたは、社会構築論系のどのような授業を今まで履修してきたか。 ⑤その他 自由記述
12	共生社会論ゼミ5(サステナビリティを目指して)	高野 孝子	最大15名	○		○	○	10月23日(火)11:45から12:30の間に、志望者は36号館8階3802に来室のこと。そこで日程調整の上、翌週の火曜から金曜の何処かで、面接を行います。日程は個別、メールで連絡します。				志願理由書 「ゼミを選ぶ理由」と「ゼミに貢献できること」。自分の特徴と言えるような経験にも触れてください。

※ 成績平均点および成績通知書は、事務所から担当教員に渡しますので、ご自身で用意する必要はありません。

※ 志望理由書とその他課題は、MyWasedaの申請フォームからの提出となります。

※ 面接指定日時に授業が入っている学生は、事前に担当教員に相談してください。